

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
 発行人 宮内 伸明
 〒 378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
 E-mail : tonekyou@pref.gunma.jp

学校教育係

学級活動の充実～活動内容の特質を踏まえて～

『小学校学習指導要領解説―特別活動編―』において、『(1)学級や学校の生活づくり』では、「集団討議による集団目標の**集団決定**」を行い、『(2)日常生活や学習への適応及び健康安全』では、「**集団思考**を生かした個人目標の**自己決定**」を行うことが示されています。ここでは、小学校4年生の(2)「エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」を例に、個人で目標を決定する過程を紹介します。

1 事前の活動

- 課題の確認** ○年間指導計画に基づいて内容を決定し、掃除当番の活動状況を確認する。
 (2)を扱う際も、中学年からは計画委員を輪番で位置付け、計画委員と一緒に活動計画づくりをしましょう。
- 共通の問題の設定** ○計画委員を招集し、掃除当番の状況のよい点や改善点を検討する。
 どうしたら、みんなが掃除当番の活動を見直すことができると思いますか？
- 題材の決定** ○題材名：『掃除を当番で行うよさ（意義）について考えよう』
- 計画の作成** ○担任と計画委員で、学級の児童が真剣に考えられるような提示資料を考え、準備する。
 掃除当番を毎日どのように行っているか、アンケートをとるといいと思います。
- 問題の意識化** ○計画委員は、短学活で内容(掃除当番の状況)を説明し、アンケートを実施する。

2 本時の活動

<ねらい>掃除当番の活動を見直すことを通して、当番活動の意義を理解し、みんなのために進んで掃除をしようとする態度を養う。

<p>■問題の状況や原因の把握をする</p> <p>みんなの問題かつ自分の問題として切実感をもたせましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●計画委員が、掃除当番の状況を提示する。 ●計画委員が問題を提示し、問題の原因をみんなで考える。 <p>なぜ、掃除当番がうまくいっていないのだろうか？</p> <p>掃除場所に早く来た人から、やりたい仕事をやっているからだと思います。</p>
<p>■解決や対処の仕方などについて共に考える</p> <p>一人一人が当番活動に対する目標を立てられるような話し合い活動にするために、教師が意図的に各グループに入って助言しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●問題の解決策をグループなどで話し合う。 <p>どうしたら、当番活動のよさを生かして掃除ができるか考えよう。</p> <p>当番表を書いて貼っておけば、それを見て掃除をするんじゃないかな。</p> <p>話し合ったことを発表し合う。 <教師は、当番活動の意義を理解して話し合われているかを判断し、自己決定に向けて補足する></p> <p>それを見て、まず自分がやるべきことをしっかりやれば、掃除も早くきれいに終わるんじゃない。</p> <p>当番活動の「よさ」を考えて、自分なりの目標が見つかりましたか。</p>
<p>■自分としての解決方法などを自己決定する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人が自分の掃除における当番活動を振り返り、今後どのように取り組んでいくのか、自己決定する。 <p>よし！ぼくは、みんなのために自分の分担場所を早くきれいするぞ。</p>

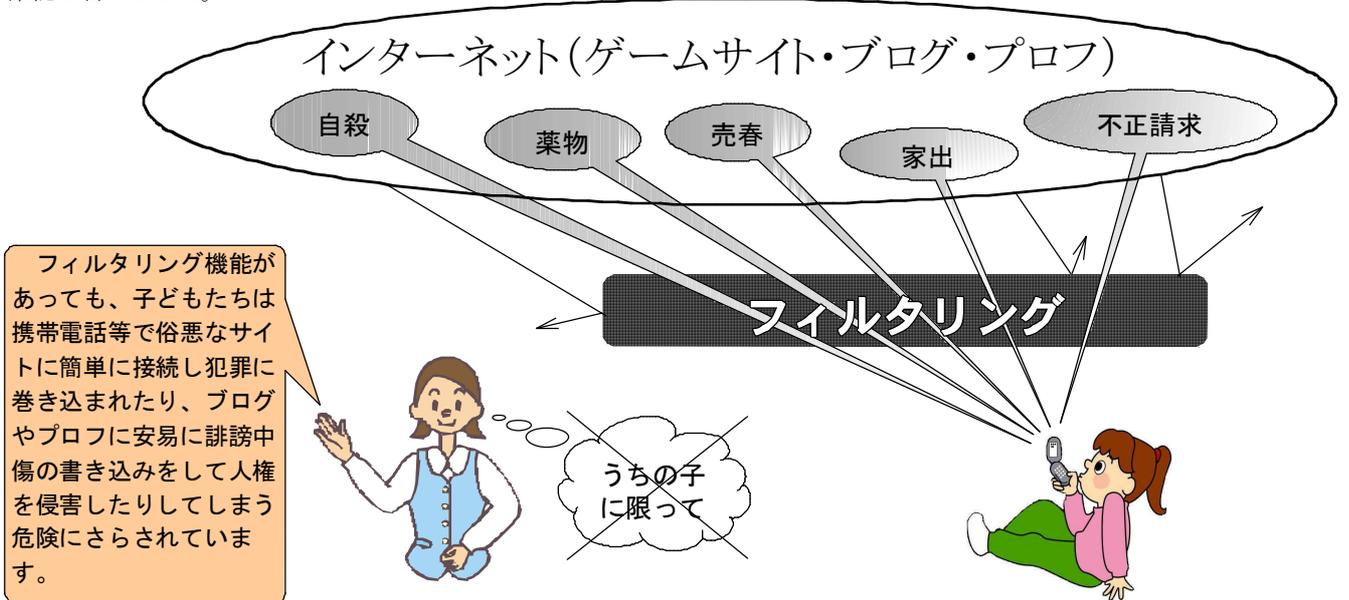
3 事後の活動

- 子どもたちは、自己決定したことを基に、個人として努力し、目標の実現を目指す。
- 計画委員は、努力の成果について振り返り、教師とともに活動を評価する。

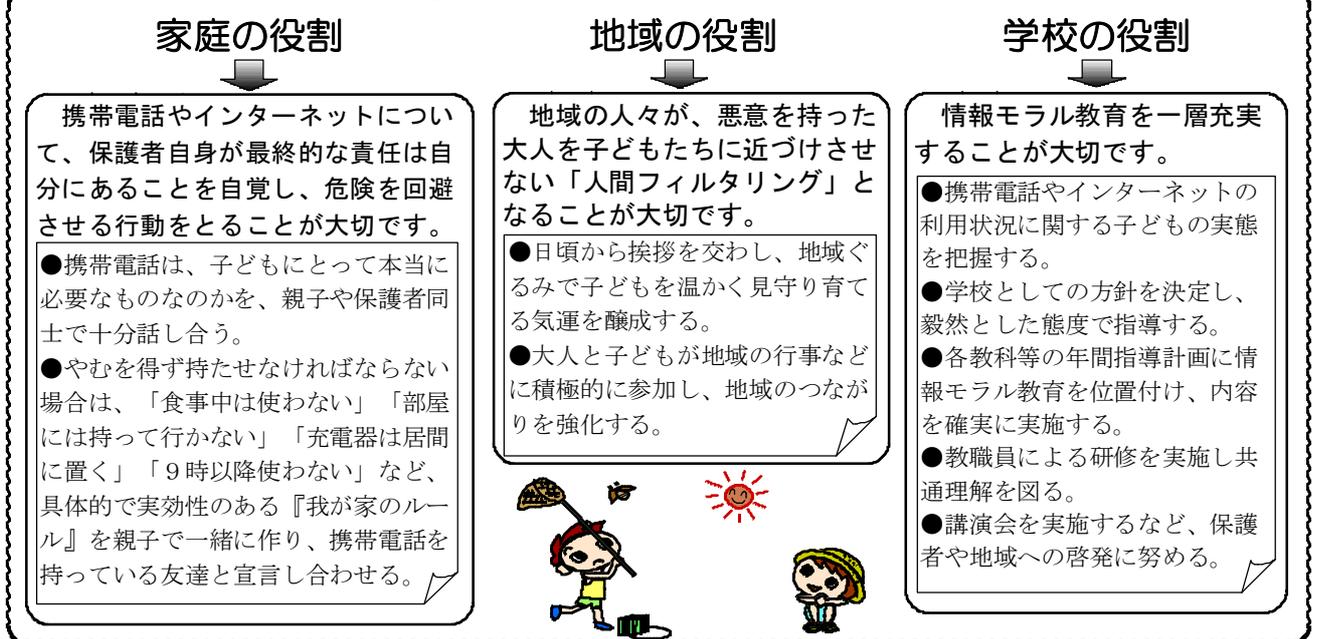
生涯学習係

～インターネットや携帯電話に潜む危険や人権侵害から子どもを守る～ ～人権感覚や自尊感情の育成～

7月7日(火)にPTAなど社会教育関係者と学校教育関係者が一堂に会し「人権教育(社会教育)指導者研修会及び生徒指導主事・主任会議」を開催しました。講演やパネルディスカッションをとおして、喫緊の課題である「インターネットや携帯電話に潜む危険や人権侵害」について学ぶとともに、子どもたちを守るための家庭・地域・学校の役割について確認しました。



地域ぐるみで子どもたちを守るために



家庭や地域、学校で子どもたちが五感をフルに使った体験を多く積ませることが大切です。

●手、鼻、口、目、耳を使って、自然や友達とふれ合う体験をとおして、人間としての強さを磨き、携帯電話やインターネットによるコミュニケーションにおいても、相手の気持ちや心の痛みを推し量れるようにする。

人権感覚や自尊感情を育て、人権侵害に関係したり、犯罪に巻き込まれたりしない強い人間の下地を作ることが大切です。

- 誰にでもあるよい点を認め伸ばすことにより、自尊感情を育てる。
- いじめを許さない環境づくりを進めるとともに、自分と違う考えも認め合えるような人間関係を構築する。